

小出川中下流部における冬季の鳥類の記録-2018-

Record of winter bird species in the middle and lower reaches of Koide River 2018, Chigasaki City, Kanagawa Prefecture

馬谷原武之¹⁾・久保有生¹⁾・須藤 格¹⁾・自然資料整理グループ²⁾

Takeyuki MAYAHARA¹⁾・Nao KUBO¹⁾・Kaku SUDO¹⁾・Museum Volunteer Group(Natural History)²⁾

はじめに

神奈川県茅ヶ崎市の西部を南北に流れる小出川は神奈川県藤沢市の遠藤笹を源流とし、小出地区、鶴嶺地区を流れ相模川河口へ流れる、全長12.5kmの一級河川である。

過去の小出川における調査では、水辺を好む鳥類が多数確認されており(小室・須藤 2008)、調査地の西久保橋―萩園橋間の東側に広がる西久保地区の水田では、以前は冬鳥のタゲリ(*Vanellus vanellus*)の飛来が確認されていたが、近年は近隣の自動車専用道路の整備、水田や周囲の環境の変化の影響か、まとまった飛来は確認されていない状況である(樋口 2010; 樋口・平田2016)。

調査地は周辺の開発や河川改修工事などにより、近年環境が変化している。現在の状況における鳥類の記録保存を目的とし、調査範囲を踏査し確認種の記録を行う。

方法

1) 調査概要

調査地：神奈川県茅ヶ崎市小出川中下流部約2km。

(図1：調査範囲模式図、図2：調査区間詳細、図3-図12：調査区間状況写真)。

調査区間は各橋梁を基準として、西久保橋付近から浜園橋までの中流域約1200m、浜園橋から中原橋下流親水スペース・下町屋橋までの下流域約800mを対象とした(図2)。

小出川中流域(寺尾橋―大曲橋―浜園橋)は、主に茅ヶ崎市と寒川町の行政境を流れており、周辺は宅地と農地が混在し、近年では宅地化が進んでいる。河道は多自然川づくりの一環として、覆土した護岸で整備しており、河道内には部分的に州が形成されている(神奈川県 2015)。下流域(浜園橋―

下町屋橋―富士見橋付近)は、茅ヶ崎市を流れ、川沿いに住宅が近接している。右岸側は小出川に沿って新湘南バイパスが整備されている。河道はブロック積護岸が整備されており、水際部に自然な寄州が形成されている(神奈川県 2015)。

調査日時：

・2018.1/6 10:00-12:00 天候：晴、微風

(小室氏提供データ)

・2018.1/12 9:40-12:40 天候：晴、微風

調査区間：

No.1: 西久保橋上流側(大曲橋)→西久保橋),
No.2: 西久保橋→萩園橋, No.3: 萩園橋→浜園橋,
No.4: 浜園橋→新鶴嶺橋, No.5: 新鶴嶺橋→中原橋,
No.6: 中原橋→下町屋橋(2018.1/6), 中原橋→中原橋下流親水スペース(2018.1/12)。

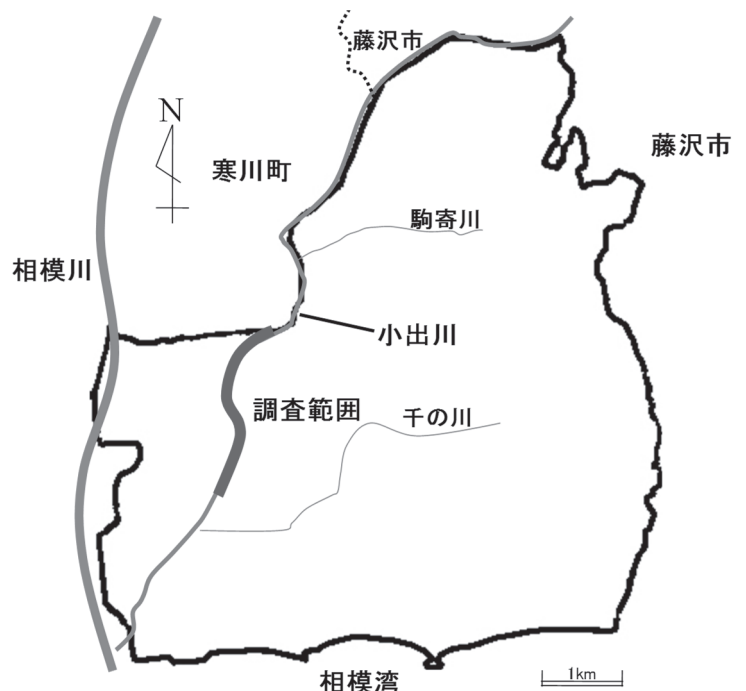


図1 茅ヶ崎市全体図 調査範囲模式図

2) 調査内容

調査項目：踏査による鳥類の確認記録

調査区間の土手を上流から下流に向け踏査し、目視や双眼鏡で各区間の水域、陸域や上空で確認された鳥類の記録を行った。鳥類分類、学名は「日本鳥類目録改訂第7版」日本鳥学会(2012)などに従った。調査区間詳細の図は1/10000地形図(茅ヶ崎市 2015)をもちいた。

結果・考察

表1に調査により確認された鳥類の目録、表2に各調査区間(各橋梁間)の確認種一覧を示す。

今回の調査全体において、計34種の鳥類を確認する事ができた。もっとも多く種の確認した区間は、ある程度の規模のヨシ原が見られるNo.2(西久保橋→萩園橋)で、2018.1/12に20種確認された。

確認された主なものとして、ほぼ全域で水鳥のカモ科ヒドリガモ(*Anas penelope*) (冬鳥)(図13)、マガモ(*Anas platyrhynchos platyrhynchos*) (冬鳥)、コガモ(*Anas crecca crecca*) (冬鳥)、カルガモ(*Anas zonorhyncha*) (留鳥)が確認された。ウ科のカワウ(*Phalacrocorax carbo haneda*)は、No.6において2018.1/6に上空に45個体確認され、2018.1/12には白色羽の婚姻色の個体が確認された(図14)。ほぼ全域において魚類や水生生物を捕食するサギ科のアオサギ(*Ardea cinerea jouyi*) (留鳥)(図15)、ダイサギ(*Ardea alba alba*) (留鳥)、コサギ(*Egretta garzetta garzetta*) (留鳥)が確認された。クイナ科のバン(*Gallinula chloropus chloropus*) (留鳥)、オオバン(*Fulica atra atra*) (冬鳥)(図16)が確認され、特にオオバンはほぼ全域で多数確認された。他、カモメ科のユリカモメ(*Larus ridibundus*) (冬鳥)(図17)、水辺を利用するカワセミ(*Alcedo atthis bengalensis*) (留鳥)(図18)、上空にはハヤブサ科のチョウゲンボウ(*Falco tinnunculus interstinctus*) (留鳥)、ハヤブサ(*Falco peregrinus japonensis*) (留鳥)、タカ科のトビ(*Milvus migrans lineatus*) (留鳥)などが確認された。川原や中洲においてチドリ科のイカルチドリ(*Charadriu*

s placidus) (留鳥)が確認され、川原や土手、周辺陸部では、丘陵地や平地の田畑などで見られるモズ科モズ(*Lanius bucephalus bucephalus*) (留鳥)や、ヒタキ科ツグミ(*Turdus naumanni eunomus*) (冬鳥)がNo.2で確認された。平地や丘陵地、公園等で普通に見られるスズメ科スズメ(*Passer montanus saturatus*) (留鳥)、セキレイ科ハクセキレイ(*Motacilla alba lugens*) (留鳥)、ヒヨドリ科ヒヨドリ(*Hypsipetes amaurotis amaurotis*) (留鳥)、ムクドリ科ムクドリ(*Spodiopsar cineraceus*) (留鳥)、メジロ科メジロ(*Zosterops japonicus*) (留鳥)などの種が確認された。また、海岸部から内陸部に進出しているヒタキ科イソヒヨドリ(*Monticola solitaries*)が確認された。

調査範囲には河川改修や周辺環境の状況により、

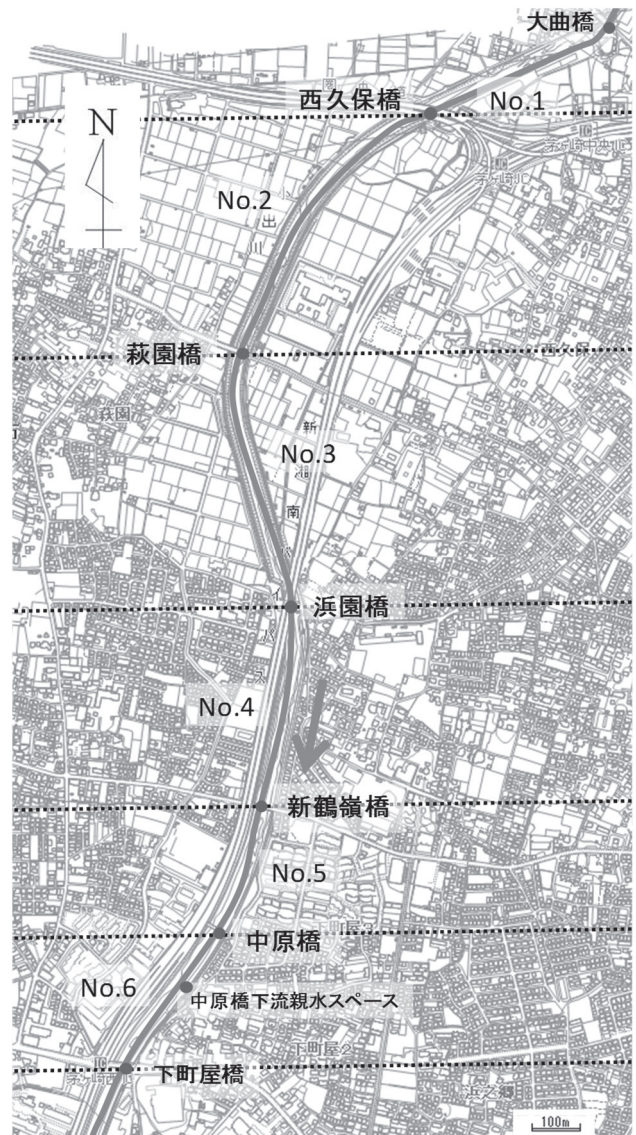


図2 調査区間詳細

ヨシ原, 管理された土手, 周辺田畑, 宅地等さまざまな環境が含まれ, 多くの種が確認されたと考えられる。当地は, 以前から調査が行われており, 今回の調査データを含め, 今後, 過去の調査データの報告などと合わせることで, 多様な環境要因やその変遷と, 鳥類の生息・飛来状況の関連性を追うことができると考えられる。

謝辞

本調査は茅ヶ崎市文化資料館ボランティアである自然資料整理グループの皆様のご協力により行った。小室明彦氏からは, 事前調査のデータをご提供頂いた。皆様に深く御礼申し上げる。

引用文献

樋口公平(2010)茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市におけるタ
ゲリー斉調査10年間(1999-2008年度)について。
文化資料館調査研究報告(19), pp15-18。
樋口公平・平田稔(2016)茅ヶ崎市, 寒川町, 藤沢市,
伊勢原市, 平塚市におけるタゲリー斉調査(2013,

2014年度)について。文化資料館調査研究報告(2
5), pp23-28。

神奈川県(2015)相模川水系小出川・千の川河川整
備計画。http://www.pref.kanagawa.jp/docs/f4i/cnt/f
70089/documents/764956.pdf(2018年1月19日)

小室明彦・須藤格(2008)茅ヶ崎市における野鳥分布
調査について。文化資料館調査研究報告(17), pp21
-30。

日本鳥学会(2012)日本鳥類目録改訂第7版。438pp。
日本鳥学会, 三田。

1) 茅ヶ崎市教育委員会社会教育課
茅ヶ崎市文化資料館

Chigasaki City Museum Of Heritage

2) 茅ヶ崎市文化資料館自然資料整理グループ
石井準子・緒方隆・奥野攻・小室明彦・
鈴木節雄・三輪徳子・目黒啓子・渡辺俊子

Chigasaki City Museum Of Heritage volunteer gro
up(Natural History)

表 1 確認された鳥類目録

科名	種名	学名	2018. 1/6	2018. 1/12
カモ科	ヒドリガモ	Anas penelope	○	○
	マガモ	Anas platyrhynchos platyrhynchos	○	○
	カルガモ	Anas zonorhyncha	○	○
	コガモ	Anas crecca crecca	○	○
カイツブリ科	カイツブリ	Tachybaptus ruficollis	○	○
ハト科	キジバト	Streptopelia orientalis orientalis	○	○
	カワラバト (ドバト)	Columba livia	○	○
ウ科	カワウ	Phalacrocorax carbo hanedae	○	○
サギ科	アオサギ	Ardea cinerea jouyi	○	○
	ダイサギ	Ardea alba alba	○	○
	コサギ	Egretta garzetta garzetta	○	○
	バン	Gallinula chloropus chloropus	○	○
クイナ科	オオバン	Fulica atra atra	○	○
チドリ科	イカルチドリ	Charadrius placidus	○	○
カモメ科	ユリカモメ	Larus ridibundus	○	○
タカ科	トビ	Milvus migrans lineatus	○	○
カワセミ科	カワセミ	Alcedo atthis bengalensis	○	○
ハヤブサ科	チョウゲンボウ	Falco tinnunculus interstinctus	○	○
	ハヤブサ	Falco peregrinus japonensis	○	○
モズ科	モズ	Lanius bucephalus bucephalus	○	○
カラス科	ハシボソガラス	Corvus corone orientalis	○	○
	ハシブトガラス	Corvus macrorhynchos japonensis	○	○
シジュウカラ科	シジュウカラ	Parus minor minor	○	○
ヒヨドリ科	ヒヨドリ	Hypsipetes amaurotis amaurotis	○	○
ウグイス科	ウグイス	Geothlypis trichas cantans	○	○
メジロ科	メジロ	Zosterops japonicus	○	○
ムクドリ科	ムクドリ	Spodiopsar cinereus	○	○
ヒタキ科	ツグミ	Turdus naumanni eunomus	○	○
	ジョウビタキ	Phoenicurus auroreus auroreus	○	○
	インビヨドリ	Monticola solitarius philippensis	○	○
	スズメ	Passer montanus saturatus	○	○
スズメ科	スズメ	Passer montanus saturatus	○	○
セキレイ科	ハクセキレイ	Motacilla alba lugens	○	○
アトリ科	カワラヒワ	Chloris sinica minor	○	○
ホオジロ科	アオジ	Emberiza spodocephala personata	○	○

表 2 各調査区間の確認種

調査区画	No.1(大曲橋)→西久保橋		No.2 西久保橋→萩園橋				No.3 萩園橋→浜園橋				No.4 浜園橋→新鶴嶺橋				No.5 新鶴嶺橋→中原橋				No.6 中原橋→下町屋橋(1/6), 中原橋下流親水スペース(1/12)			
種名 調査日	2018.1/12	備考	2018.1/6	備考	2018.1/12	備考	2018.1/6	備考	2018.1/12	備考	2018.1/6	備考	2018.1/12	備考	2018.1/6	備考	2018.1/12	備考	2018.1/6	備考	2018.1/12	備考
ヒドリガモ Anas penelope			2	♂2	1		5	♂3,♀2	59				5		3	♂2,♀1						
マガモ Anas platyrhynchos							3	♀3									2	♂1,♀1				
カルガモ Anas zonorhyncha			13		4		5						2									
コガモ Anas crecca crecca			5	♂3,♀2	2	♀			3		14	♂6,♀8	4		2	♂2	2					
カイツブリ Tachybaptus ruficollis																			1			
キジバト Streptopelia orientalis										1												
カワラバト(ドバト) Columba livia	2		1		多数																	
カワウ Phalacrocorax carbo haneadeae	3				1								2	白色羽×1(婚姻色)		1			45	上空		
アオサギ Ardea cinerea jouyi					1								1									
ダイサギ Ardea alba alba	1														2		1		1		1	13:00. No.5と同一個体か?
コサギ Egretta garzetta garzetta	4				1				2						2				12		1	
バン Gallinula chloropus chloropus					1		2		2													
オオバン Fulica atra atra			10		7		3		3	2			15				9		20			
イカルチドリ Charadrius placidus													1									
ユリカモメ Larus ridibundus																	1					
トビ Milvus migrans lineatus					2					1												
カワセミ Alcedo atthis bengalensis					2										1	♂1			1	♀1		
チョウゲンボウ Falco tinnunculus interstinctus																	1					
ハヤブサ Falco peregrinus japonensis	1																					
モズ Lanius bucephalus bucephalus	1				1		1	♂1					1									
ハシボソガラス Corvus corone orientalis			1		4																	
ハシブトガラス Corvus macrorhynchos japonensis					1																2	
シジュウカラ Parus minor minor					1				2										2			
ヒヨドリ Hypsipetes amaurotis amaurotis			4						多数	3												
ウグイス Cettia diphone cantans							1		2										1			
メジロ Zosterops japonicus															2							
ムクドリ Spodiopsar cineraceus							5		4													
ツグミ Turdus naumanni eunomus					1																	
ジョウビタキ Phoenicurus aureus aureus									1	♂												
イソヒヨドリ Monticola solitarius philippensis					1								1				1	♀				
スズメ Passer montanus saturatus	3						1		多数				2									
ハクセキレイ Motacilla alba lugens	2		1		3					1			2									
カワラヒワ Chloris sinica minor	1		2		10				2													
アオジ Emberiza spodocephala personata					1																	



図 3 西久保橋上流側 (No. 1)



図 4 西久保の水田 (No. 2 東側)



図 5 西久保橋-萩園橋間 1 (No. 2)



図 6 西久保橋-萩園橋間 2 (No. 2)



図 7 萩園橋-浜園橋間 (No. 3)



図 8 浜園橋-新鶴嶺橋間 (No. 4)



図 9 新鶴嶺橋-中原橋間 (No. 5)



図 10 中原橋-中原橋下流親水
スペース間 (No. 6)



図 11 中原橋下流親水スペース (No. 6)

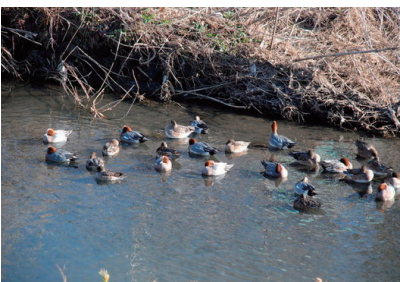


図 12 ヒドリガモの群れ



図 13 カワウ



図 14 アオサギ



図 15 オオバン



図 16 ユリカモメ



図 17 カワセミ